



# 維新

## JISHIN JOURNAL

"大大阪市構想"で市民の暮らしを変える  
**大阪維新の会**

**発行元** 大阪維新の会 大阪市議員団  
〒530-8201 大阪府大阪市北区中之島1-3-20 大阪市会  
**TEL:06-6208-8628**  
(編集担当: ミノベテルオ / 広田かずみ)

「市民のための議会」は大阪維新の会だけが訴えている提案!

# 議会改革4プラン

2010年9月! 定例議会で徹底議論!

議員定数45人以下に

**半減**

議員の報酬を3割

**削減**

議員の年金制度を

**廃止**

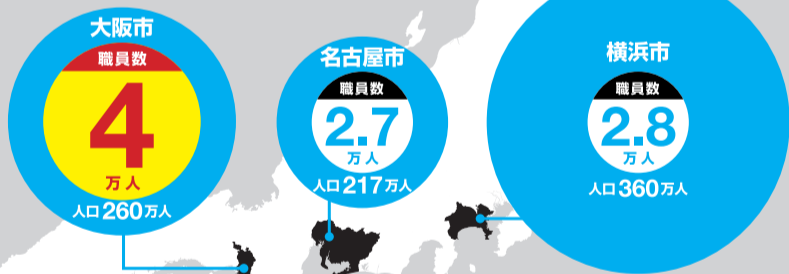
議会基本条例案を

**提出**

## 天下りシステム解体!

大阪はたくさんの天下り職員を抱えている!? この終身雇用制度が大阪市民を圧迫する現実

日本各主要都市の人口数と職員数



大阪市では多くの業務で約2割の職員が過剰です。さらに過剰な職員を天下りさせるため、大阪市の天下り団体がまだ118もあり、大阪市のOB職員は2145人もいます。今や公務員天国となってしまう中之島の利権構造を解体しないことには、市民サービスは向上しません。役人が区長では市民サービスは良くなりません。このままでは大阪、そして市民の生活を圧迫し続ける一方です。


**大阪市役所**  
 40000人


**OB職員**  
 2145人


**天下り団体**  
 118団体

**この制度は無駄**  
 なぜこんな事に?  
 目標!!!  
**職員数30%減!**



大阪維新の会  
おおさかいしんのかい  
大阪市議員団が大阪の未来を変えます!



## 魅力ある大阪づくりへ。橋下代表と意見を交わそう! 大阪維新の会 タウンミーティング

大阪再生を目指す「大阪維新の会」が大阪市の各エリアでタウンミーティングを実施しております。橋下徹代表をはじめとする各エリアの維新メンバーにみなさんのご意見をお聞かせ下さい。

2010年 9月18日	13:30	港区	港区民センター	港区弁天2-1-5	06-6572-0020
2010年 9月18日	18:00	西成区	西成区民センター	西成区岸里1-1-50	06-6651-1131
2010年 9月25日	18:00	北区	北区民センター	北区扇町2-1-27	06-6315-1500
2010年12月 5日	16:00	東住吉区	未定	未定	未定
2010年12月 5日	18:00	浪速区	浪速区民センター	浪速区稲荷2-4-3	06-6568-2171
2010年12月 5日	19:30	淀川区	淀川区民センター	淀川区野中南2-1-5	06-6304-9120
2010年12月12日	15:00	此花区	ホテル大阪ペイタワー	港区弁天1-2-1	06-6577-1111
2010年12月12日	18:00	西区	西区民センター	西区北堀江4-2-7	06-6531-1400
2010年12月12日	19:30	鶴見区	鶴見区民センター	鶴見区横堤5-3-15	06-6912-3971

その他 大阪市他区 大阪府下全域にて! **タウンミーティング開催予定!**



## ここがおかしい! 大阪市営交通機関!

大阪駅

JR

**190円**

<乗車料金>

天王寺駅

同じ移動区間  
にも関わらず

差額何と!

**80円**

梅田駅

地下鉄

**270円**

<乗車料金>

天王寺駅

### 市営地下鉄の運賃は民間よりも高いのはなぜ!

各鉄道初乗り運賃 JR 120円 民営 140～150円 市営 200円

梅田から天王寺までJR西日本の運賃は190円に対して、大阪市営地下鉄の運賃は270円。同じ移動区間にも関わらず、何と80円の差額が生じます。これが一ヶ月続くと2,400円、年間で換算すると29,200円もの差額になるのです。また、初乗り運賃も各私鉄と比較しても、50～80円からの差額。確かに便利な大阪市営地下鉄は収益も上げていますが、私鉄とのこの金額差は何なのでしょう?理由が見当たりません。

#### 職員の年収も民間より高い!?

私鉄に比べて明らかに高い大阪市営地下鉄ですが、職員の年収も大きな差が生じています。市民は職員の為に他の私鉄よりも高い運賃を支払っているわけではありません。バスに至っては赤字にもかかわらず、この差額です。これは明らかにおかしい状況なのです。

交通機関	市営	民間	民間との差額
電車	751万円	670万円	81万円
バス	782万円	577万円	205万円

## 「地下鉄」も「バス」も無駄を排除するために! 民営化で解決

### 大阪市外からのアクセスも増え更に活気的な大阪市へ! 利便性広域化で"大大阪市"実現を目指す

大阪市営地下鉄民営化にはたくさんのメリットがあります。まずは運賃の値下げが可能となります。利便性の高い地下鉄をもっと多くの人に利用してもらう事で、大阪市来街者に比例して、大阪市内の施設利用の増加が見込める事で経済効果の上昇も期待できます。

また市民が納めている税金の使い方も無駄が減るどころか、市運営の施設の機能面向上に費やすことで、市民の暮らしを手助けすることができるのです。例えば、駅に役所の出張所やフィットネスクラブ、医療施設など新施設の増設といった資産運用で新しいサービスの提供も可能となるのです。

このまま無駄を続けていけば、青少年育成機関や福祉機関など、守るべきものまでも犠牲にせざるを得ない状況に陥ってしまいます。悪い部分を排除して良い部分を拡大する。このコンパクトでシンプルな方針こそが、我々「維新の会」が提唱する"大大阪市"構想なのです。

これまでの歴史を見直して下さい。日本電信電話公社がNTTへ。国鉄がJRへと民営化されたことで、人々の暮らしは変わったのです。



# 大阪を変える! 市民の暮らしを変える! 大阪維新の会による"大大阪市"プロジェクト! 市営地下鉄民営化で運賃値下げ!

- 府・市の機能を「解体+再編」二重行政解消で経費カット!
- 区長公選実現! (区民が選挙で区長を選ぶ)
- 大阪市の水道事業を広域化! 使用料金を値下げ!

この10年! 大阪の府内総生産は2.41兆円も減少! 1人当たりの市民所得も68万円減少! みなさんはこの現状を黙って見ていられますか? 大阪の危機を救うため! 「大阪維新の会」は結成されました!

### 大阪はもっと経済力を伸ばすことが可能な都市

大阪は一地域でありながら府内GDPは3.8兆円。アジアや中東の中規模国家、例えば台湾やサウジアラビア一国並みの経済力を有しています。さらに、環境、エネルギー、エレクトロニクス等の分野では世界をリードする技術を誇ります。これからの日本経済を牽引できる潜在可能性は十分あります。

大阪の危機は官民を通じて認識され、様々な取組みがなされてきましたが、それぞれの動きがバラバラなため、大阪のもつ潜在可能性を活かせず、「負のスパイラル」から抜け出せずにいます。私達は、交通等様々な分野の取組みを一つに方向付け、府民の連帯意識を育てるための「One大阪」に向けての運動を提案し展開します。

### 大阪府庁と大阪市役所の解体と再編を目指します!

府域の再編を進めるためには、大阪府庁と大阪市役所の解体と再編が必要不可欠です。大阪市役所は広域自治体と基礎自治体の両方の性質を有しています。広域自治体としてみると、大阪市役所の莫大な資産や人材は大阪市内でしか使えず、周辺部と一体になった発展のチャンスを逃しているのです。

基礎自治体としてみても規模が大きすぎて、市長が日常の行政サービスについてきめ細かく対応するのはきわめて難しく、住民に身近な区長にはお役人が就任しています。また、府と市の「二重行政」の弊害も指摘されており、さらに、府と市の施設や機能を統合することで大幅に機能強化できるものも多数あります。

大阪府庁と大阪市役所がバラバラに取り組むのではなく、組織を一つに再編し、強いリーダーシップの下、一丸となって取り組むことによって大阪の危機を打開していきます。

そのためには、既成政党の枠組みの中では、それぞれの規制や利害の対立が生じ、理想とする自治体の姿は求められません。これまでのイデオロギーに関わらず地域自らが考える「グレーター大阪」を政策の柱とした「大阪維新の会」を立ち上げました。

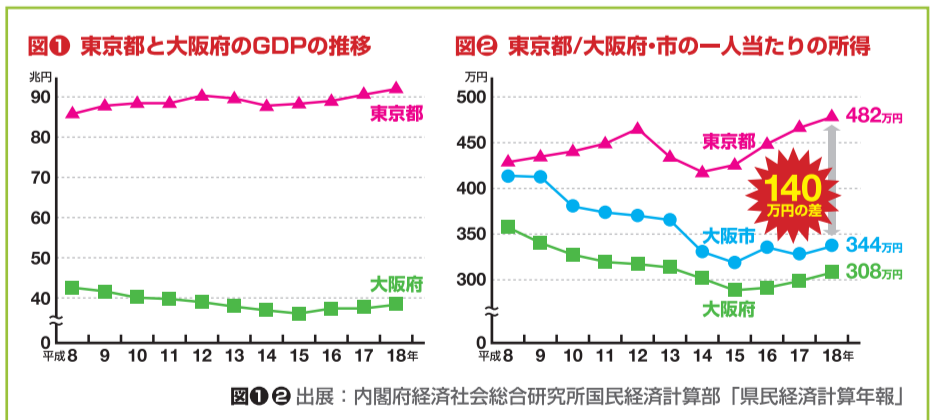


### この10年で68万円減! 市民の所得は凋落の一方!

大阪の府内総生産(GDP)は、この10年で2.41兆円も減少しています。府民一人当たりの所得も平成8年の35.7万円から平成18年の30.8万円へ約4.9万円減少しています。大阪市だけをみれば、減少の幅はさらに大きく約6.8万円となっています。東京と比較すると大阪市の凋落ぶりはさらに明確になります。

平成8年の大阪市の一人当たりの所得は41.2万円で、東京の42.7万円と大きな差はありませんでした。ところが、平成18年には東京48.2万円に対し、大阪市34.4万円と約14.0万円もの差が開いてしまいました。

優秀な人材の流入や将来性のある企業の立地を促すこともできず、企業の流出に歯止めをかけることもできなかった結果、多くの生活指標が悪化し(全国最高の生活保護率、低い消費支出、高い完全失業率等)貧困が再生産される最悪の事態が進行しています。



### 2010年結成! 「大阪維新の会」とは?

私たちは、「広域自治体が大都市圏の成長を支え、基礎自治体はその果実を住民のために配分する」という新たな地域経営モデルを実現するため、「大阪維新の会 大阪市議員団」を結成しました。

今後、住民の生活基盤(安心)に関わる事務は基礎自治体が、また産業基盤(競争・成長)に関わる事務は、広域自治体がサービスの提供主体になるという役割分担により、「強い広域自治体」と「優しい基礎自治体」で大阪府域の再編を進めます。

## 大阪維新の会

おおさかいしんのかい

大阪市議員団 幹事団

<団 長> 坂井 良和 <幹 事 長> 東 貴之 <政 調 会 長> 大内 けいじ <広 報 担 当> 広田 かずみ  
 <副 団 長> 辻 淳子 <副 幹 事 長> 徳村 さとる <副 政 調 会 長> ミノベ トルオ